

STOP!みんなで止めよう!温暖化



地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の進捗状況(令和5年度)

区役所は、区内最大規模の事業者であり、エネルギー消費者でもあります。こうした立場から、区では「葛飾区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」のもと、温室効果ガス排出量の削減や、環境への負荷を減らすための具体的な取組を進めてきました。

I 環境行動推進のための主な取組

1 省エネルギー対策

電気使用量

前年度比で0.4%増、基準年度（平成25(2013)年度）比で11.5%減となりました。

前年度比は児童相談所の新規開設等により増加、基準年度比は施設の省エネ改修（蛍光灯や空調設備等の省エネ機器への更新）の継続実施により減少しました。

		令和5(2023)年度		令和8(2026)年度 (計画目標)
		(前年度比)	(基準年度比)	
区及び教育委員会合計		0.4%	-11.5%	-27%
内 区	区	1.3%	-29.1%	
	教育委員会	-0.5%	17.4%	

都市ガス使用量

前年度比で1.7%増、基準年度（平成25(2013)年度）比で29.2%増となりました。

前年度比は、児童相談所の新規開設や高砂小学校・高砂中学校の新校舎開設等により増加しました。

また、教育委員会における基準年度比の大幅な増加は、体育館へのガスエンジンによるエアコンの設置を進めてきたことが主な理由です。

		令和5(2023)年度		令和8(2026)年度 (計画目標)
		(前年度比)	(基準年度比)	
区及び教育委員会合計		1.7%	29.2%	-7%
内 区	区	1.4%	6.9%	
	教育委員会	1.8%	42.7%	

2 省資源・リサイクル対策

水使用量

前年度比で0.4%増、基準年度（令和2(2020)年度）比で18.4%増となりました。

基準年度比はコロナ禍の反動による影響により増加しました。

		令和5(2023)年度		令和8(2026)年度 (計画目標)
		(前年度比)	(基準年度比)	
区及び教育委員会合計		0.4%	18.4%	現状から 増加しない
内 訳	区	0.8%	9.2%	
	教育委員会	0.2%	24.7%	

用紙類使用量（A4換算）

前年度比で2.0%減、基準年度（令和2(2020)年度）比で8.8%減となりました。

		令和5(2023)年度		令和8(2026)年度 (計画目標)
		(前年度比)	(基準年度比)	
区及び教育委員会合計		-2.0%	-8.8%	-5%

廃棄物など

基準年度（令和2(2020)年度）比で可燃ごみ10.7%減、不燃ごみ1.5%増、粗大ごみ16.6%増、資源4.4%減となりました。

		令和5(2023)年度		令和8(2026)年度 (計画目標)
		(前年度比)	(基準年度比)	
区及び教育委員会合計	可燃ごみ	-2.7%	-10.7%	-15%
	不燃ごみ	-0.9%	1.5%	-15%
	粗大ごみ	-16.6%	16.6%	—
	資源	-0.2%	-4.4%	—

3 自動車対策

公用車の燃料使用量

ガソリン使用量は前年度比で1.7%増、基準年度（令和2(2020)年度）比では8.7%増となりました。

		令和5(2023)年度		令和8(2026)年度 (計画目標)
		(前年度比)	(基準年度比)	
区及び教育委員会合計	ガソリン	1.7%	8.7%	-20%
	軽油	-5.0%	-1.5%	-10%
	天然ガス	-12.2%	4.9%	—
	LPG	—	-100.0%	—

4 グリーン購入

「葛飾区グリーン購入推進指針」に基づき、環境に配慮した製品（再生コピー用紙、再生材使用ボールペンなど）を選んでいきます。

II 温室効果ガス総排出量の削減

温室効果ガス排出量

区及び教育委員会の温室効果ガス排出量の合計は、基準年度（平成 25(2013)年度）比で 25.4%削減となりました。これは照明や機械、冷暖房などでの電気使用量の減や、電力の排出係数の改善による効果が主な理由です。

活動別の温室効果ガス発生源

		令和 5 (2023) 年度		計画目標	
		(前年度比)	(基準年度比)	令和 8 (2026) 年度	最終年度 令和 12 (2030) 年度
区及び教育委員会合計		0.1%	-25.4%	-41%	-51%
内 訳	照明や機械、冷暖房などでの電気の使用によるもの	-0.6%	-35.7%	/	/
	冷暖房や厨房などでの都市ガスの使用によるもの	1.7%	30.3%		
	公用車の使用によるもの	-0.3%	-25.3%		
	その他の暖房用燃料の使用などによるもの	20.8%	404.4%		

温室効果ガス種別排出状況

		令和 5 (2023) 年度		計画目標	
		(排出量)	(基準年度比)	令和 8 (2026) 年度	令和 12 (2030) 年度
区及び教育委員会合計		23,678.8 t	-25.4%	-41%	-51%
内 訳	二酸化炭素 (CO ₂)	23,670.7 t	-25.4%	/	/
	メタン (CH ₄)	0.2 t	-28.8%		
	ハイドロフルオロカーボン(HFC-134a) など	7.9 t	-17.1%		

* 温室効果ガスの排出量は、「温室効果ガス排出量標準的算定手法 (H24.3(財)特別区協議会)」のほか、一部「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (H22.3.3 一部改正)」をもとに換算しています。

III まとめ

令和 5 (2023) 年度の温室効果ガス排出量については、前年度比 0.1%増、基準年度（平成 25(2013)年度）比 25.4%減となりました。今後も引き続き温室効果ガスの削減に努めてまいります。